

沖 茉里子さん

特別号

あそ〜と広報係一同 発行：8月



・あそ〜とのみんなより

・短い人生を走り抜けましたね。あなたのゴールがこんなに短かったのかと…。

日中一時利用のでら〜と、高等部を卒業してからのらぼ〜とそれからあそ〜とと

私は多くの時間を共に過ごさせていただきました。

あなたの怒る顔、嫌がる顔、痛がる顔、そして楽しい笑顔嬉しい笑顔、得意気な笑顔…。

日々の過ごし方は少しずつ大変なことが増えていったけれど、

「今を精一杯」そんな毎日を過ごしてきましたね。

今は天国でお母さんと一緒に過ごしているのかな…。

やっと、自分の好きなことを思う存分やれるのかな…。

茉里子さん、今までありがとうございました。安らかに…。

(佐藤寿子)



・茉里子さん お母様が亡くなり、引っ越し、入院色々ありましたね…。

空のむこうでお母様とたくさんお話ししているんだろうな…安らかに…。 (石川京子)

・茉里ちゃん 色んな事があったね。マークイズ一緒にでかけたね、成人式の着物姿素敵だったね…etc。

らぼ〜と、あそ〜とで過ごした日々思い出をありがとう。(栗原高子)

・茉里子さん 初めてでら〜とであった日の事、最後にあそ〜とで過ごした日のこと…。

いろんな表情のあなたを覚えています。今はお母様と笑顔で過ごしているのかな？たくさんのありがとうを込めて。(村松友希)

・茉里子さん 支援学校で校内を自転車で走っていたかわいい姿が思い出されます。ありがとう。(澁谷夕子)

・茉里子さん 茉里さんと一緒に過ごせて楽しかったです。らぼ〜とでもあそ〜とでも本当にありがとう。(石川ありさ)

・茉里子さん 沢山の思い出をありがとうございました。短い時間だったけどとても楽しかったです。

お母様と会えましたか？ (小林ひとみ)

・茉里子さん お母さんと会えたかな？沢山笑ってお母さんとお話ししてるだろうね。沢山〃、ありがとう。(中川めぐみ)

・沖さんへ 最後にあそ〜とに戻ってきてくれた時、沖さんの顔を見ていつものあそ〜とだなあとホッとして嬉しかった瞬間の事、忘れないと思います。一杯頑張ってた沖さん、ゆっくり休んでください。(勝又菜々美)

・茉里子さん 出会って短い時間でしたがありがとうございました。一緒に行った広見公園、楽しかったです。(中島瑞希)

・茉里子さんへ あそ〜とで出会ってから短い時間でしたが沖さんの送迎をさせてもらっていた事、今でも昨日の様に思い出します色んな思い出をありがとうございました。(内野裕斗)

・短い間でしたが、いろんなことを教えてくれました。ありがとう。ずっと忘れないよ。(鈴木誠一)

・茉里子さん 出会って短い間でしたが、私は新人職員で茉里さんは先生でした。色んな事を教えて下さり、楽しい時間を共有して頂きありがとうございました。(望月幸敏)

- ・沖さん 短い間しか一緒に過ごすことができなかったけど、楽しい時間を過ごすことが、茉里ちゃんとできました。GTで行ったホースセラピーの時のとてもリラックスした茉里ちゃんを忘れません。楽しい思い出をありがとう。 （望月智）
- ・茉里子さん 出会って一年の半分しか、一緒に居られませんでした。茉里ちゃんに会うと毎回ほっぺをすりすりさせてもらいました。退院してあそ〜とに戻ってきてくれた日も、ほっぺをすりすり。まさかあの日と時がお別れになってしまうとは。最後に会いに来てくれたんだね。ありがとう。茉里子さんを忘れません。 （遠藤りえ）

らぼ〜とのみんなより

茉里ちゃんは26年4月〜28年4月まで、らぼ〜とに通ってくれました。

入所の際、お母さんから「皆さんと沢山お喋りをして楽しい一時を共有出来たら、

そしてらぼ〜とを通じて社会生活を五感で楽しめたらうれしい。」というお言葉を頂きました。

この言葉の通り、茉里子さんは元気に通所してくれ、らぼ〜との皆と行事を楽しんだり運動を頑張る

仲間のスイッチを押して応援してくれたり、久しぶりに母の付き添いなして静岡や川崎までお出かけしたり

毎日バックの中にメイク道具を入れてお洒落を楽しんだり…。

私たちも楽しい時間を共有させていただきました。

らぼ〜とでの生活はどうだったでしょうか？私たちは茉里子さんから沢山の事を学ばせていただき沢山の事を考えさせられました。

今はまだ淋しい思いばかりですが、茉里子さんの、これまでの頑張り、優しさを忘れません。

皆と出会ってくれてありがとうございました。どうぞ安らかに…。

沖茉里子様

平成28年度、あそ〜とでの11カ月は“楽しかったね〜”。

毎日皆が声をかけてくれたね。一番印象深いのはGTで乗馬体験したこと！！何も支え無しで茉里ちゃんと馬と息を合わせてバランスを合わせて歩きました。

夢中で興奮したね。馬よりも田中の鼻息が見えるほど興奮したね〜。‘どこでどんな風に暮らしたいか’前例のない中、私たちに問いかけてくれました。茉里ちゃんのお母さんは、いつも「茉里子にきいて〜」と明るく言ってたねえ。そして私たちはこれからも目の前の、その人の声’を聞いていきます。 （田中美由紀）

